

英流

英一蝶 【名信香、一二安雄、俗称助之進、俳名暁雪、花街ニテ八和央、一作和心、一蜂閑人、後門人二讓、大阪産、藤原多賀氏】

拾五歳ノ時江戸ニ下リ、安信門人トナル、呉服町一丁目新道住居  
元禄十一年配流、年四十  
宝永六年九月帰郷、在島十二年、其後称英一蝶、号北窓翁  
享保九年正月十三日歿、年七十三、墓在二本榎日蓮宗承教寺塔中顯乘院、法号英受院一蝶日意  
母為尼妙寿ト云、一蝶謫居ノ中、一蝶の友横谷次兵衛宗珉方二養ハル、正徳四年三月卅日歿、  
葬于顯乘院、宗珉ノ居八檜物町  
三谷氏某二、一蝶謫居ヨリ、母ノモトヘ贈シ画を蔵ス、謫居の趣ヲ細ヤカニ絵ガキタル也、  
元宗珉ノ家ニ残シモノトゾ、一蝶短冊ノ名 夕寥  
号旧草堂、隣樵庵、鄰濤庵

一蝶 長八郎信勝、落款ニ六集一蝶トアリ、内藤氏ニ写アリ。  
元文元年閏十一月歿、法号機外道輪居士、葬深川寺町陽岳寺 遺跡志

一蝸 始百松、後源内、(補)百松八一蝸ニ非ズ  
(補)嵩月老話二、後ニ久留米侯ヘ仕、一圭方ニ一蝶ノ自筆ニテ百松ヲ御召抱被下候得トノ願書ノ  
草稿アリシ、御慰ニ被召抱候様ト申事也

(補)竹本話二、百松按ニ立花侯ヘ被召抱武家ニ成候由

(補)天保七年二月廿一日、内藤嵩松子、所輯ノ印譜ニテ、一舟ノ前名ナルコト明也

「署名」信祐之印」此印、一蝸、又一舟トアリ、此下ノ印ニモアリ、一人ト可改也」

(頭注) (補)トアルハ旧来ノ増補ニテ誰ノナセルモノナルカ今知ルニ由ナシ、又補ト注セスシテ増補ニ係者往々アリ

門人養子 相統

一舟 弥三郎信種、号東窓翁、遺跡志二号潮窓

明和五年正月廿七日(イ廿三日)歿、年七十一、葬于顯乘院  
(補)嵩月話、名信景

同人 号春窓翁  
一蜂 宝曆十年四月廿八日歿、葬于深川法禅寺中南龍院

一蜂 始一艇  
天明八年六月十二日歿、葬築地本願寺中、真光院 遺跡志

一蜂 嵩谷門人、始嵩林

(補)門人

英子蝉 木葉屋ノ由、天保七二月、嵩月老モ、此画ヲ見タル由

一蝉、小船町 大坂屋武兵衛、嵩月老話

一蝶晚年門人 始嵩指、始一水、佐脇氏、名道賢、字子岳、号果々觀、

佐嵩之 称甚蔵、又中岳堂、東宿、一翠斎等号

明和九年七月六日(イ二日)歿、年六十六、葬浅草誓願寺中称名院 遺跡志

古一蝶先生門人、施画為人、居東武駒谷、古人物志

男 嵩雪 字貫多、号翠雲堂、即仰止楼、中岳堂、称倉治  
画を父に学で、能家風を守る、女を英之といふ、画を能す 逸人画史

文化元年十一月廿二日歿、同寺 遺跡志

女英之 寛政三年六月三日歿、同寺 遺跡志

門人 高嵩谷 字子盈、号楽只斎、湖蓮舎、東都人、以画行、古人物志

高久氏、名一雄、号屠龍翁、逸人画史

文化元年八月廿三日歿 遺跡志

年七十五歳、武江年表

嵩溪 高瀨

門人 觀嵩月 嵩月老、屋名は築島屋と申候、材木屋にて、深川の木場に其置場有之、今にそのかけ橋  
はこのこり、築島橋と申候由

天保元年十一月廿日卒、七十歳、名常雄、晚年景納と号、英一蜂の門人也、

深川陽岳寺に葬、武江年表

一舟門人 一川 字宗蜂、号松下庵

養子 一圭 旧嵩谷門人、今住法恩寺、天保十一年(一字欠く)月、於柳橋祝八十八賀  
文化六年七月、深川宜雲寺に、英一蝶の筆塚を築、碑を建る、市野光彦文を選し、英一珪これを建る  
これは一蝶寓居の所なりし故也

天保十四年十二月廿一日、一珪卒、八十歳、二本榎承教寺中顯乘院に葬【共ニ武江年表】

養子 一笑 嵩溪四男

英一(補)

一 蜩 後一舟、明和五年正月二十七日歿、七十一  
一 川 安永七年正月二十八日歿、隔絶

佐脇嵩之 或高指二作儿、一蝶門人

高雪 嵩之ノ男  
英之 嵩之ノ女、嵩雪妹

高嵩谷 嵩之門人、文化元年八月廿五日歿、七十五

高溪 嵩谷門人二テ、婿養子トナル  
文化十四年四月七日歿、五十六

高龜 嵩溪ノ男、後嵩谷ト称ス、嘉永二年、  
大坂ニ移住ス、明治八年三月廿七日歿、  
七十六、大坂天王寺ニ葬ル

一 珪 嵩谷門人、師命二テ、英家再興  
天保十四年十一月廿一日歿、九十二

一 笑 嵩谷ノ孫二テ、相続、高龜弟  
安政五年八月十二日歿、五十五

一 蜻 高龜ノ男、北町奉行同心、大村信三  
天保十年己亥生、現在

高英 養子、幼名菊丸、後高龜ト称ス、  
妻八一蜻ノ姉、明治十七年十一月  
十五日歿、五十五

虎尾 早世 嗣絶

大槻如電氏、其遺族ニ  
質シタル所ニ係ル